

## 8. 青森のシンボル What is this?

1. 教師の small talk でトピックを導入しましょう。

[例] What flower do you like? I like cherry blossoms. It's cute. I like pink. I like apple blossoms, too. The apple blossom is a symbol of Aomori Prefecture. Do you like apple blossoms? How about you? What color is an apple blossom? Pink? No. It's white. The bud is pink, but the blossom is white. What flower do you like? Why?

ポイント①: 児童になじみのある単語を使って small talk を展開し、トピックが青森県の花であることに気付かせましょう。そして、他にもどんな県のシンボルがあるか発表させましょう。案外知られていませんので、わからない場合は早めに答えを出して英語のやり取りに入りましょう。どんな花が好きなのか、その理由も日本語で答えさせてかまいません。

ポイント②: Do you like ~? や What color ~? などを使って会話を広げ、多くの児童が自然に話の輪に入ってこれるようにやり取りをしましょう。

ポイント③: 一般に「花」は flower ですが、特定の花の場合は cherry blossom のように blossom を使います。りんごの花はつぼみがピンクで花は純白です。

2. スクリーンに教材の絵を映して単語や表現の導入をしましょう。

[apple blossom の例] 絵を使ってやり取りをしましょう。

What do you see in the picture? We see four symbols of Aomori, birds, fish, flowers, and a tree. What is this? It's an apple blossom. I like apple blossoms. The apple blossom is the Aomori Prefectural flower. The apple blossom is a symbol of Aomori Prefecture. We can see apple blossoms in spring. I go to Mt. Iwaki to see apple blossoms. Do you like apple blossoms?

ポイント①: 児童に問い合わせ反応を引き出しながら prefectural や flower、blossom の意味を理解させましょう。英語で意味を推測させることが難しい場合は、適宜日本語を使いましょう。flower と blossom の違いは適宜判断して説明しましょう。

ポイント②: 単語や表現の意味を確認しながら、I like ~. や Do you like ~? などを使って何度も音をインプットしましょう。

3. スクリプトの音声を流してスクリプトを導入しましょう。まだ文字は読ませません。

Let's listen to the script. (2回聞かせる) What word do you hear? (耳に手をあてて何が聞こえたかという動作をする) Do you hear blossom? (他の重要表現も確認する) OK, good job. What is this? (教師がゆっくり読み、合図を出してリピートさせる。児童 What is this?) Good. It's an apple blossom. (同様に1文ずつ教師の後に続いて言わせる) The apple blossom is the Aomori prefectural flower. (児童がリピート) We can see apple blossoms in spring. (児童がリピート)

ポイント①: この段階では文字を見せずに音をしっかりと聞かせ、表現をリピートさせましょう。

4. スクリプトを大きく映し、読む文字を指しながら音と文字を一致させましょう。

What is this? (ゆっくり文字を押さえながら読み聞かせる。2回目は教師と一緒に読ませる。) 以下の文も同じように行う。

ポイント①: この活動の前にしっかりと音のインプットをしておくことが大事です。あくまでも文字は補助的なものとして考えましょう。

ポイント②: 文字を指で押さえることで文字の音の確認と読む速さの調節ができます。

ポイント③: うまく読めないところは単語だけ抜き出して練習してもかまいませんが、あまりしつこく繰り返す必要はありません。

5. 他の県のシンボルについても、同じ要領で児童とやり取りしてみましょう。